



ESDをキーワードとする地域づくりと人づくりへ
雑司が谷で「つながる」・「つなぐ」



池袋学 夏季特別講座

10:30-10:40 開会挨拶

阿部 治 (立教大学社会学部教授、ESD研究所所長、「池袋学」座長)

10:40-10:50 挨拶

高野之夫氏 (豊島区長)

10:50-11:00 挨拶

柳田好史氏 (NPO法人としまNPO推進協議会代表理事、としまユネスコ協会事務局長)

◇第1部 基調講演

11:00-11:30 「雑司が谷の魅力とは」

渡辺憲司氏 (立教大学名誉教授、自由学園最髙学部部長)

11:30-12:00 「法明寺と雑司が谷」

近江正典上人 (法明寺住職)

12:00-12:30 「未来遺産運動と雑司が谷」

川上千春氏 (日本ユネスコ協会連盟事務局長)

※12:30-13:00 休憩

◇第2部 討議「雑司が谷を中心とした地域づくり—大人と子どもと—」

[事例報告]

13:00-13:30 渡邊隆男氏 (雑司が谷未来遺産推進協議会会長)、小池陸子氏 (「としま案内人雑司ヶ谷」代表)

13:30-13:50 中村雅子氏 (豊島区立南池袋小学校校長)

※小学生による御会式・子供纏の実演あり

13:50-14:10 薬袋奈美子氏 (日本女子大学家政学部准教授)

[パネルディスカッション]

14:10-15:00 上記4名+三田一則氏 (豊島区教育委員会教育長)+平井憲太郎氏 (としまユネスコ協会代表理事) / 阿部 治

◇第3部 (15:10-17:30)

①地域活動に関するポスター展示 (南池袋小学校、日本女子大学家政学部・薬袋奈美子ゼミ、立教大学経済学部・大山利男ゼミ 他)

②上映「「くらしの記憶」から探る雑司が谷」 (協力: NPO法人「としまの記憶」をつなぐ会)

③「すすきみみずく」制作WS [※先着10名] (協力: 雑司が谷すすきみみずく保存会)

2016年8月1日(月)10時30分～17時30分 / 立教大学 池袋キャンパス 7号館

【問合先】立教大学ESD研究所 (☎:03-3985-2686 E-mail:esdrc@rikkyo.ac.jp) ※入場無料

池袋学

東京芸術劇場 × 立教大学 連携講座

申込方法

第1部・第2部は、東京芸術劇場HPおよび立教大学HP上の「お申込みフォーム」にてお申込み下さい。なお、第3部の「すすきみみずく」制作ワークショップ（先着10名）に関しては、雑司が谷すすきみみずく保存会（☎ 03- 3971 - 4383）にお申込み下さい。すすきみみずくの材料費として1,000円を頂戴します。第1部・第2部、第3部の上映会は入場無料です。

日時：2016年8月1日（月）

場所：立教大学 池袋キャンパス 7号館

題目：雑司が谷で「つながる」・「つなぐ」

—ESDをキーワードとする地域づくりと人づくりへ—

池袋駅近くに位置し、雑司が谷霊園、法明寺、鬼子母神などの伝統的な文化、自然が残る雑司が谷。近年、地域住民が主体となって、地域の歴史・自然・文化を継承しながら、まちづくりを進めています。2014年には日本ユネスコ協会連盟の「プロジェクト未来遺産」として「「雑司が谷がやがや」プロジェクト～歴史と文化のまちづくり」（雑司が谷・歴史と文化のまちづくり懇談会）が登録認証を受けました。また2016年には、鬼子母神堂が国の重要文化財の答申を受けました。本企画では、研究者や学生、地元住民などによる雑司が谷に関する研究・学習・実践成果の発表、共有の場を設けます。従来個別に行なわれてきた活動を、ひとつにつなぐことで、雑司が谷を視座とする内発的・横断的な学びの促進、地域への誇りの醸成、域学連携の形成を図るとともに、ESD（Education for Sustainable Development：持続可能な開発のための教育）による地域づくりと人づくりの可能性と未来について議論を深めます。なお、かつて「雑司が谷」は現在の西池袋や南池袋をも包摂する広い地域を指しており、「池袋学」すなわち「雑司が谷学」ともいえます。今回の企画が、駅で東西に分かれた地域を“つなぐ”道筋を考える契機となれば幸いです。

【主催】立教大学、東京芸術劇場、文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「ESDによる地域創生の評価とESD地域創生拠点の形成に関する研究」（研究代表者・阿部治）、立教大学ESD研究所、立教大学ESD地域創生研究センター設置準備室

【共催】豊島区、公益財団法人としま未来文化財団、NPO法人としまユネスコ協会、雑司が谷未来遺産推進協議会

【協力】NPO法人ゼファー池袋まちづくり、NPO法人としまNPO推進協議会、NPO法人「としまの記憶」をつなぐ会